



さあ、答え合わせをしよう！

第22週目 12/11行ってみよう～石川県(いしかわけん)からの出題

※ココを見てね!▶行ってみよう～石川県(いしかわけん)

1. 大昔の国名でみると、石川県(いしかわけん)は2つの国でした。能登国(のとのくに)と、もう一つはどこ？

正解:②加賀国(かがのくに)

大昔の国名を現在の地域(ちいき)に言い換えれば、丹後国(たngoのくに)は京都府北部、石見国(いわみのくに)は島根県西部です。正解は、②加賀国(かがのくに)です。ほかの都道府県(とどうふけん)は何ていうのかな? WEBサイト「用語じてん」を見て、キミの住んでいる所など、いろいろ確かめてみてね。

2. 加賀三湖(かがさんこ)とは、柴山潟(しばやまがた)・木場潟(きはがた)と、あと一つは？

正解:①今江潟(いまえがた)

正解は、①今江潟(いまえがた)です。干拓(かいたく)されずに遊水池(ゆうすいち)として自然のままの姿を残す「木場潟(きはがた)」、日に7回も水の色を変えるとされ、観光(かんこう)スポットとしても人気を集める「柴山潟(しばやまがた)」、そして、戦後(せんご)の干拓事業(かいたくじぎょう)で埋(う)めたてられた「今江潟(いまえがた)」の3つをあわせて「加賀三湖(かがさんこ)」といいます。ちなみに、河北潟(かほくがた)と赤浦潟(あかうらがた)も、石川県(いしかわけん)の潟湖(がたこ)です。

3. 石川県(いしかわけん)のお宝で、国の重要文化財に指定された木でつくった魚は、何という遺跡(いせき)から出土(しゅつど)しましたか？

正解:①八日市地方遺跡(ようかいちじかたいせき)

正解は「お宝ベスト5」1つ目、①八日市地方遺跡(ようかいちじかたいせき)です。弥生時代中期(やよいじだいちゅうぎ)の環濠集落(かんごうしゅうらく)がみつかり、人々の生活やものづくり、遠い地域(ちいき)との交流(こうりゅう)、祭りや儀式(ぎしき)に関わるさまざまなものが出土(しゅつど)しています。何かの儀式(ぎしき)に使われたもののようですが、木で魚の形をしたものは他の遺跡(いせき)ではみつかりません。くわしくは、遺跡(いせき)ページも見てみてね。

4. 中屋サワ遺跡(なかやさいせき)から見つかったカゴは、あるものを繰り返し塗(ぬ)って、ていねいに仕上げられています。あるものとは？

正解:②漆(うるし)

正解は「お宝ベスト5」4つ目、②漆(うるし)です。漆(うるし)とは、ウルシの木の幹(みき)から採(と)った樹液(じゅえき)、またはそれを精製(せいせい)したもので、ウルシの木はアジアにしか生育(せいいく)しません。日本列島(れっとう)では、縄文時代(じょうもんじだい)から漆(うるし)を使用したものが見つかり、塗料(とりょう)や接着剤(せっちゃくざい)としての役割(やくわり)だけでなく、素材(そざい)を腐(くさ)りにくく、頑丈(がんじょう)にしてくれるため、毎日使(つか)いの食器(しょっき)やお椀(わん)などにも多くもちいられています。石川県(いしかわけん)では美しく価値(かち)の高い工芸品(こうげいひん)・美術品(びじゅつひん)としての漆器(しっき)が、伝統(でんとう)産業(さんぎょう)となっています。

5. 国の重要文化財に指定されている、真脇遺跡(まわきいせき)から見つかった土器は、何をモデルにしていますか？

正解:③鳥

なんとも可愛い顔をした土器(土器)ですね。正解は、③鳥。「お宝ベスト5」2つ目に紹介されています。何を入れたのでしょうか? 現代(げんだい)の食卓(しょくたく)なら、サラダボールとしても活躍(かつやく)しそうですね。海に近い真脇遺跡(まわきいせき)からは、イルカの骨(ほね)もみつかり、くわしくは、遺跡(いせき)ページも見てみてね。